

る誤りである。組合費を納入して幹部にお任せし、幹部の言ふことに消極的に従ふと言ふだけでは未だ組織の第一歩である。吾々はこの組織を第二步、第三步へと進めなければならぬ。

即ち組合員大衆が組合を眞實に自分のものとして考へ、組合の一切の活動に對して積極的に發言して參加すると共に、組合機關の決定に對しては軍隊の如く服従し、行動するやうに組織を整備し充實せしめなければならぬ。

これは教育部と共に組織部がなさねばならぬ重要任務である。

(二) 爭議方針

(イ) 基本の方針

我々の爭議の基本的方針は従來の守勢を遊襲に轉すること、個別的分散的誤謬を改めて全國的統一闘争の見地に立つて闘争することではならぬ。

即ち資本家階級から壓迫と搾取の下ることを待つてこれを消極的に防衛すること言ふことではなしに、こちらから要求を携けて敵の虚に乗じて突撃すべきである。

(ロ) 要求項目の統一

全國的統一闘争は抽象的なスローガンを掲げただけで遂行されるものではない。全國的に統一した要求項目を掲げてこれが獲得に向つて闘争する時初めて統一闘争は可能となる。我々は行動綱領に掲げられたものの中から當面痛切に大衆の要求する共通的项目を取りあげて、要求項目を統一することが必要である。字句の表現は必ずしも行動綱領にあるその儘である事を要しない。

項目については従來の如く些末な問題にまで十數ヶ條の數多きに亘るが如きことを排して重要なもの五六ヶ條位にすべきである。しかしこれは職場に於ける日常些末なる問題の闘争を排棄する意味では斷じてない。職場内に日常生活する些細なる問題をも敏速に促へて闘争を激發し、組織することによつて、これ等の問題を全國的な統一要求に發展結合させることが出来るし、統一要求を眞に大衆に理解せしむることが出来るのだ。

(ハ) 爭議計畫並に發展擴大の方策

以上の如く遊襲的であり、統一的であると共に計畫的でないならぬ。即ち爭議の時機、爭議戦術、基金等についても、差し迫る前に、あらかじめ爭議部に於いて準備と計畫を樹て、ゝるこゝとが必要である。五日や十日の慌しい準備計畫では今後の全國的統一闘争を強力に組織し指導する